

2024 年度 事業報告書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

【概況】

弊会は本年4月で創立60周年を迎えました。役員及び会員の皆様のご支援のお蔭で、V Eの普及・発展を通じて社会に貢献する活動を継続できておりますこと、感謝に堪えません。これまでの60年を振り返って整理しますと、立場によって異論はあるかと存じますが、おおよそ次のような発展経緯であったかと認識しております。

- | | |
|------------|--|
| 1960年代のV E | Value Analysis （キーテーマ：資材費低減）
…主に製造業の購買部門が資材費の低減にV Aを活用。 |
| 1970年代のV E | Value Engineering （キーテーマ：開発・設計のV E）
…開発・設計段階へのV E適用が進む。 |
| 1980年代のV E | Value Creation （キーテーマ：新製品開発のV E）
…顧客の要求を捉えた新製品開発にV Eが適用され始める。 |
| 1990年代のV E | Value Strategy （キーテーマ：戦略的コストマネジメント）
…戦略的コストマネジメント（原価企画）にV Eが活用される。 |
| 2000年代のV E | Value Excellence （キーテーマ：経営革新）
…卓越性を追求するValue Managementの構築が模索される。 |
| 2010年代のV E | Value Evolution （キーテーマ：SHINKA：進化、深化、真価）
…新たな時代に即したV Eの進化が模索される。 |
| 2020年代のV E | Value Design （キーテーマ：社会に貢献する価値の創造）
…社会的インパクトの創出に向けた価値のデザインが求められる。 |

日本経済は、「失われた30年」といわれる停滞が続いておりますが、必ずしも停滞ではなく、新たな時代に向けた準備が水面下で進んでいた、いわば蛹の状態であったと前向きに捉えたいと考えます。これから大いに発展するポテンシャルは十分にあると。

しかし、そのポテンシャルを解放するためには、過去の成功体験にとらわれない新たな取り組みが必要であることは論を待ちません。新たな時代のV Eを牽引する若い世代の育成も大きな課題であり、弊会では「バリューデザイン・アカデミー」という人財育成のプラットフォームを設置し、V E + α の知識やスキルを備えた人財の育成に着手し、ご好評をいただいております。

さらに、所与の課題を解決する能力だけではなく、未来洞察から「社会的インパクト」を設定し、バックキャストिंगで「新たな価値」を構想、V Eでその価値を実装するという、一連のプロセスをプロデュースできるような人財「バリューデザイナー」の育成にも着手しております。引き続き皆様のご支援を賜りたくお願い申し上げる次第です。

1. 講 座

1) バリューデザインスクールのオンライン開催

	3 時間で学ぶ V E の基本	1 日で体験する V E ワークショップ	ファシリテーション入門
開催日	6月13日	6月21日	7月10日
受講者	32名	27名	9名

	V E で活用する アイデア発想	V E の原点的思考 (機能分析中心)	企画段階の V E
開催日	7月11日	7月23日	7月26日
受講者	9名	8名	11名

	V E 活動で求められる ファシリテーションの実践	機能の整理法	V E に活かす “数字力”養成
開催日	8月 2日・20日・28日	9月 4日	9月11日
受講者	6名	11名	6名

	開発設計の V E	V E を組織的に適用する ためのマネジメント	V E ブラッシュアップ 基本編
開催日	9月26日～27日	10月 3日	10月 4日
受講者	8名	9名	19名

	話し合いをデザインする 技術	「目からウロコ」の 見積業務	V E ブラッシュアップ 短文記述編
開催日	10月10日	10月11日	10月17日
受講者	6名	6名	19名

	V E ブラッシュアップ 論述編	製品改善ワークショップ (対面開催)	3 時間で学ぶ V E の基本
開催日	10月25日	10月28日～29日	11月 5日
受講者	20名	11名	24名

	1 日で体験する V E ワークショップ	製品改善ワークショップ
開催日	11月12日	12月12日～13日
受講者	16名	12名

2) 「バリューデザインアカデミー」の開講

(1) V E 講座

	第 1 回	第 2 回	第 3 回
開催日	5月15日	7月10日	9月20日
受講者	11名	11名	11名

(1) V E 講座 (つづき)

	第 4 回	第 5 回
開催日	11月14日	1月 9日
受講者	11名	10名

(2) + α 講座

	開講式	ファシリテーション	T Q M
開催日	4月10日	6月19日	8月20日
受講者	11名	11名	9名

	問題発見	プロジェクトマネジメント	データサイエンス
開催日	10月 2日	12月 4日	2月 4日
受講者	10名	10名	10名

	アカウンティング	修了式
開催日	3月 5日	3月26日
受講者	10名	11名

(3) オープンコンサルティング

	第 1 回	第 2 回	第 3 回
開催日	4月23日	5月28日	6月25日
受講者	11名	11名	11名

	第 4 回	第 5 回	第 6 回
開催日	7月23日	8月27日	9月24日
受講者	9名	10名	9名

	第 7 回	第 8 回	第 9 回
開催日	10月22日	11月26日	12月17日
受講者	9名	9名	10名

	第10回
開催日	2月18日
受講者	9名

(4) 特別講座

	C V S 試験対策	論文対策	V E 管理
開催日	9月24日	11月19日	1月21日
受講者	7名	5名	10名

3) その他研修会等の開催

(1) VEインストラクター養成講座の開催

開催日	11月21日～22日
受講者	5名

(2) 通信講座の開講

① VEの基礎

地理的・時間的な都合等で通学講座の受講が難しい人にも、VEの基礎を学び、VEリーダー（VEL）資格認定試験の受験資格を取得できる機会を設けること等を目的に開講し、115名が受講。

② はじめての企画・開発メソッド ～ 0 Look / 1st Look VE ～

VEの基礎を学んだ人、VEL有資格者等を対象に、企画・開発業務にVEを活用する方法を学ぶ講座を開講し、2名が受講。

(3) CVS（Certified Value Specialist）によるVE技術者育成支援【「CVSフォーラム委員会」のオンライン開催】

	開催日	出席者	主 な 内 容
第191回	4月23日	6名	①「CVSフォーラム」2023年度総会の振り返り ② 2024年度の活動について、など
第192回	5月21日	8名	①「総合的な学習の時間」応援団のページ掲載申請書について ② SDGs絵本の構成と作成形態、作成スケジュールについて、など
第193回	6月18日	7名	① SDGs絵本の作成 ② SDGs絵本解説書の作成、など
第194回	7月16日	6名	① SDGs絵本の作成 ② SDGs絵本解説書の作成、など
第195回	8月27日	8名	① SDGs絵本の作成 ② SDGs絵本解説書の作成、など
第196回	9月24日	7名	① SDGs絵本（教材）冒頭部分の作成 ② SDGs絵本解説書の作成、など
第197回	10月22日	8名	① SDGs絵本（教材）冒頭部分及び絵本解説書の作成 ② 上記絵本作成後の研究テーマについての検討、など
第198回	11月19日	9名	① SDGs絵本（教材）及びその解説書の作成 ② 2025年度研究企画募集についての経過報告、など
第199回	12月17日	8名	① SDGs絵本（教材）及びその解説書の作成 ② 2025年度研究活動についての応募企画の審査、など
第200回	1月21日	6名	①「海の豊かさを守るVEアプローチ」テキスト及びその解説書の作成 ②『CVSフォーラム』2024年度総会についての検討、など
第201回	2月25日	7名	①「海の豊かさを守るVEアプローチ」テキスト及びその解説書の作成 ②『CVSフォーラム』2024年度総会についての検討、など
総 会	3月25日	18名	①『CVSフォーラム』での研究活動実施について ② “VE実施手順の上手い使い方”をテーマとしたグループ討議、など

(4) 未来起点の事業コンセプトづくり～バックキャスト技法ワークショップの開催

開催日	11月22日
受講者	8名

(5) 経営者フォーラムの開催

	第1回	第2回	第3回
開催日	5月14日	9月3日	3月11日
会場	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター	アルカディア市ヶ谷	アルカディア市ヶ谷
テーマ	PHASE FREE 日常を超えた価値を創るデザイン	ホワイトカラーの生産性は なぜ低いのか	企業価値を創造する経営
参加者	13名	16名	14名

(6) 開発設計業務でのV E・原価企画等に関する講座のオンデマンド配信

	開発設計業務での コストエンジニアリング
期間	6月10日～28日
視聴者	(中止)

(7) 公共機関でのV E技術者育成支援

10月9日に開催された官公庁・地方自治体による「全国V E活動推進研究会」の運営会議にC V S資格を有するV E専門家をアドバイザーとして派遣し、公共分野でのV E活用状況をヒアリングするとともに、V Eの最新動向について情報提供を行った。

(8) 教育機関におけるV E導入促進と普及

- ① 立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科主催の課題解決型長期企業実習「プラクティカム」に協力団体として登録。同研究科の大学院生に管理技術による改善指導の手法を学習する機会を本会中国統括事務所（旧・上海V E協会）の協力を得て実施。
- ② 中国の自動車業界における新商品開発という実践的なテーマに5名の大学院生が参加し、8月～1月まで計13回の会合と自主会合を開催。1月20日に東京・大阪・名古屋・上海の4拠点をオンラインで結び、研究の成果発表会を開催。

2. 資格認定

1) 資格認定制度の整備・体系化

- (1) 米国V E協会から収集した“改定後のC V S資格認定制度運用”に関する情報に沿ってC V S認定試験実施要項及び再認定申請要領を改定。
- (2) 前記(1)の改定内容について、解説動画を編集してホームページから発信し、公表。
- (3) 前記(1)の改定によりC V Sを国際資格と明確に位置づけ、V E SをこれまでのC V Sに相当する国内資格と位置づけたことを受け、希望するC V Sに対してV E Sの終身登録を行った。

1) 資格認定制度の整備・体系化（つづき）

- (4) 国際資格に相応しい制度運営を目的としたCVS資格認定制度改定と、CVS資格認定制度の運営を今後さらに米国VE協会へと近づけるための検討と準備。
- (5) “改定後の本会におけるCVS資格認定制度運用” に関して、米国VE協会に報告。
- (6) 米国VE協会が2025年の10月に予定しているCVS資格認定制度の一部改定に対応するための検討を開始。

2) 資格認定試験の実施

試験名	実施日	会 場	受験者	合格者
第56回 VEL 認定試験（前期）	4月18日 ～ 7月31日	全国約200箇所	490名	398名
第57回 VEL 認定試験（後期）	9月 1日 ～ 2月28日	全国約200箇所	1,458名	1,087名
第27回 VES 認定試験	12月 7日	東京・名古屋・大阪・福岡	53名	33名
第45回 CVS 認定試験	11月16日	東京・上海	4名	4名

※ VEL 認定試験については、中国において本会の中国統括事務所が運営を代行し、30名が合格。

3) VEインストラクター（VEI）資格の創設

11月21日～22日に開催した「VEインストラクター養成講座」を受講・修了した 4 名に VEI 資格を付与した。

4) 「バリュー・エンジニアリング（VE）」誌の編集・発行・配信

(1) 「VE誌編集委員会」のオンライン開催

	開催日	出席者	主 な 内 容
第94回	7月19日	8名	① 2024年度前半のVE誌編集実績の報告について ② 2024年度の企画について ③ その他（VE誌編集委員会運営規約改定、VE誌への投稿論文の取り扱いについて、など）
第95回	1月24日	8名	① 2024年度後半のVE誌編集実績の報告について ② 2025年度の企画について ③ その他の提案について

(2) VE誌の発行・配信

第325号	第326号	第327号	第328号
5月 1日	8月 1日	11月 1日	2月 1日

5) 更新登録の実施

VEL・VES・CVS登録者の更新登録及び終身登録を実施。

3. 講 習

1) 「バリュー・カンファレンス2024／第57回 V E 全国大会」の開催

対面開催	10月10日 於・豊洲 I H I ビル
配信期間	11月 1日～30日【30日間】
視聴回数	2,113回（全22コンテンツの総再生回数）
内 容	協会顕彰表彰式、講演 3 件、V E 活動優秀賞受賞報告 2 件、V E 実践論文・V E 活用事例11件、特別報告 6 件

2) 地域 V E 大会の開催（西日本支部 関西地区、中四国・九州地区）

	第56回 V E 関西大会	第67回 V E 西日本大会
開催日	2月21日	9月27日
会 場	会場とオンラインの 同時開催	オンライン開催
参加者	121名	59名
内 容	➤ 講演 3件 ➤ 事例紹介 3件 ➤ アップグレードミーティング 1件 ➤ 過去講演紹介 4件 ➤ 過去事例紹介 8件 ➤ 過去パネルディスカッション 2件	➤ 講演 2件 ➤ 技法紹介 1件 ➤ 事例紹介 2件
オンデマンド 配信	3月 3日～17日	10月 1日～15日

3) V E フォーラムのオンライン開催（西日本支部 関西地区）

	V E スプリングフォーラム	V E サマーフォーラム
開催日	5月24日	8月28日
参加者	75名	62名
内 容	➤ 講演 1件 ➤ 事例紹介 3件 ➤ パネルディスカッション 1件	➤ 講演 1件 ➤ 事例紹介 2件 ➤ パネルディスカッション 1件
オンデマンド 配 信	6月 3日～17日	9月 2日～16日

4. 研究開発

1) 「バリューデザイン・ラボ」での先端的・実務的研究及び調査等の積極推進

(1) 日本・ウズベキスタン共同による次世代 P B L（Project Based Learning）モデルの設計

	開催日	出席者	主 な 内 容
第 1 回	1月14日	4名	① 方向性の検討 ② 開発手順の整理
第 2 回	2月 7日	4名	① 現地視察計画 ② 研究課題整理

	開催日	出席者	主 な 内 容
第 3 回	3月13日	4名	① 今後の発表の場について ② 3月21日の中間発表会について
第 4 回	3月24日	4名	① I E の P B L について ② P B L の必要性についての講義内容

(2) V E 国際大会への参加による、海外諸国研究動向についての情報収集

- ① 6月2日～4日にテネシー州ナッシュビルで開催された「2024年 S A V E（米国 V E 協会）Value Summit」に参加し、発表や講演を通じて海外における V E 実践・研究等に関する情報を収集。また、本会の新たな取り組みであるバリューデザインアカデミー開講に関して発表し、意見交換を実施。
- ② 7月30日に上記 Summit の参加報告を無料ウェビナーとしてオンライン開催。

2) 各支部での実務的研究の推進

(1) 機能別部会での研究活動

- ① 東日本支部に次の機能別部会を設置し、実務的な研究活動をオンラインで推進。

部会名	メンバー	主 な 内 容
V E 情報交流部会	10名	初めて部会活動に参加する人を対象とし、V E の推進組織や教育体制などについて広く情報交換を行う場。
V E 推進部会	30名	V E 推進上の課題について参加各社のノウハウをもとにした成功のためのポイントについての研究。
マーケティング部会	10名	マーケティング手法の理解や新たな価値を創造するためのツール開発と検証。
R & D 部会	18名	価値を創造する手法として V E 手法を進化させるための関連手法を含めた探究と研究開発。
ものづくり部会	27名	独自技術をもつ企業とのオンラインでの情報交流を通じ、ものづくりの最新動向や本質を学ぶ。
資材調達部会	32名	調達全般についての問題提起と情報交換を行い、V E の活用と業務上の課題解決につなげる。
社会インフラ部会	11名	「企業ケース検討会」と「建設 V E 研究会」による社会インフラに関わる研究。

② 活動報告会の開催

上記部会及びスキルアップ研究会の活動報告会をオンラインで開催し、各部会での取り組み内容や活動成果の一端を紹介。

開催日	3月 3日
参加者	218名
内 容	部会及び研究会の活動報告、特別発表

(2) 専門研究会での研究活動

東日本支部及び西日本支部（中部地区・関西地区）に次の専門研究会を設置し、実務的な研究活動を推進。

① 東日本支部

研究会名	メンバー	主 な 内 容
若手やビギナー層のための V E 寺子屋	15名	V E 実践における「学びの場」と「気づきの場」を提供。懸案である若手層の参画を促進することにより、支部活動のさらなる活性化をはかる。

② 東海地区

研究会名	メンバー	主 な 内 容
中部建設V E 研究会	20名	地域の実情にマッチした建設V Eのあり方と「2 時間V E手法」のオンラインでの活用方法の検討。

③ 関西地区

研究会名	メンバー	主 な 内 容
経営革新を生み出す 活き活きV E 研究会	105名	各社のV E 推進や実践方法等の情報をもとにした、V Eの効果的な普及方法と活用策。
V E ツール研究会	27名	ソフトV E等、過去に開発されたV E手法の見直しと実践。
サービス領域での V E適用方法研究会	9名	第3次産業での共通領域であるサービス領域において効果的にV E活動を進める方法。
原価企画の問題解決 研究会	18名	原価企画推進上の問題の解決策。
テアダウン研究会	22名	テアダウン法の活用法。

5. 表 彰

1) 協会顕彰の実施

(1)「審査・認定委員会 顕彰審査部会」の開催

	開催日	出席者	主 な 内 容
第1回	書面表決	4名	① 協会顕彰（V E活動優秀賞）の審査 ② 協会顕彰（V E経営者賞・V E功労賞・普及功労賞）の審査

(2) 受賞者及び受賞企業の表彰

次の各賞の表彰を「VALUE CONFERENCE 2024／第57回V E全国大会」で実施。

V E経営者賞	① 平野 徹 氏	(株)フジタ 代表取締役 専務執行役員
	② 西田 昌富 氏	三菱重工機械システム(株) 元・副社長執行役員
V E功労賞	① 木津 広美 氏	フクダハウジング(株) 代表取締役社長
	② 嶽 正幸 氏	(株)アクティブ 代表取締役社長
	③ 山下 幸弘 氏	前・(株)建設技術研究所 顧問
普及功労賞	① 市川 典弘 氏	三菱電機トレーディング(株) 経営企画部 部長代理
	② 谷口 正洋 氏	東京電力ホールディングス(株) 調達部 調達戦略グループ 課長
V E活動優秀賞	東京ガスネットワーク(株) 殿	
	東京ガスリビングアドバンス(株) 殿	

2) V E実践論文の審査・表彰

(1)「審査・認定委員会 論文審査部会」の開催

	開催日	出席者	主 な 内 容
第1回	6月28日	7名	① 応募論文の審査、など
第2回	8月23日	5名	① 修正論文の審査、など

(2) 入選論文の発表・表彰

次の論文の発表を「VALUE CONFERENCE 2024／第57回V E 全国大会」で実施。

入選論文	① 内田 佳代 氏	(株)ETERNAL SMILE
	② 松原 知也 氏 他	首都高速道路(株)
	③ 吉田 憲司 氏	三菱電機(株)

6. 情報資料

1) V E 関連資料の発行及びV E 教材等の販売

- (1) 「VALUE CONFERENCE 2024（第57回V E 全国大会）」V E 実践論文集及び資料集（電子版）
11月 1日 発行
- (2) ワークシートやアイデア発想ラベル・機能定義カード、V E L バッジ等、V E の実施や推進のためのアイテムを販売。

2) V E 関連書籍・資料・教材等の販売

V E の学習及び研究、普及促進に資するため、新・V E の基本等のV E 関連書籍を仕入れて販売し、また本会が発行するV E 関連資料・教材等を販売。

3) V E 研究論文等のネット販売

電子化した過去のV E 研究論文及びV E 実践論文を協会Web Site内に開設したV E 研究論文検索・購入サイト「V E 論文navi」で販売。

7. VE活用支援

1) 日本国内における出前講座・オンライン講座の実施

No.	開催日	受講者	内 容
1	5月27日～29日	16名	V E の基礎（オンライン開催）
2	5月30日	11名	V E の基礎（オンライン開催）
3	6月 3日～ 5日	17名	V E の基礎（オンライン開催）
4	6月 5日～ 6日	12名	V E の基礎
5	6月 7日・17日	21名	V E の基礎（オンライン開催）
6	7月 8日～ 9日	15名	V E の基礎（オンライン開催）
7	9月 2日	20名	管理技術入門（オンライン開催）
8	9月 3日～04日	18名	V E の基礎
9	9月 4日～ 5日	5名	V E の基礎
10	10月 8日～ 9日	23名	V E の基礎
11	10月 8日～ 9日	16名	V E の基礎
12	10月16日～17日	16名	V E の基礎
13	10月21日～22日	36名	V E の基礎
14	10月31日～11月 1日	19名	V E の基礎

1) 日本国内における出前講座・オンライン講座の実施（つづき）

No.	開催日	受講者	内 容
15	11月 6日～ 7日	6名	V E の基礎（オンライン開催）
16	11月11日・12月13日	19名	V E の基礎
17	11月12日～13日	21名	V E の基礎
18	11月25日～26日	20名	V E の基礎
19	12月 3日	11名	原価企画（オンライン開催）
20	12月19日・23日	12名	V E の基礎
21	12月20日	9名	企画段階のV E
22	1月20日～21日	15名	V E の基礎（オンライン開催）
23	1月23日	28名	改善マインド入門
24	1月24日	28名	改善マインド入門
25	1月27日～28日	17名	V E の基礎
26	1月28日～29日	15名	V E の基礎
27	1月30日～31日	24名	資材V E
28	2月 6日	26名	改善マインド入門
29	3月 6日～ 7日	15名	V E の基礎

2) 日本国内における指導講師の派遣

依頼に応じて3社にV E指導講師を派遣し、V E実践の個別指導を実施。

3) 海外でのV E教育支援

- (1) 中国の自動車関連メーカーに、V Eとテアダウンの複数のプロジェクトを実践指導。
- (2) 今後さらに海外プロジェクトの数が増加する見込みであることから、実践指導者やセミナー講師となるV E有資格者及び企業OBの募集を継続。
- (3) フィリピン政府発注の公共事業プロジェクトでの設計V E検討を、現地の建設コンサルティング会社から委託されて実施。6日間の対面W S S、6日間のリモートW S S、実施計画書の作成から最終報告書の作成までを支援。

4) V Eワークショップ・セミナー（48時間以上）の再認定

V Eワークショップ・セミナー5件の再認定を実施。

8. 会員相互研鑽

1) 工場見学会の開催

(1) 東日本支部

開催日	7月16日	1月31日
会 場	株式会社不二製作所 本社工場	株式会社長津製作所 本社工場
参加者	21名	15名

(2) 西日本支部 中四国・九州地区

開催日	6月14日	3月21日
会 場	三菱電機株式会社 福山製作所	旭酒造株式会社
参加者	6名	6名

9. 広報活動

1) メールマガジンによる情報発信

メールマガジン「VE 情報メール」を毎月 1 回発行し、VE や本会に関する最新情報を積極的に発信。また、VE 大会・VE フォーラム等の案内や参加者募集など PR にも積極的に利用。

2) 協会Web Site等による情報発信

- (1) 協会Web Siteを運営し、VE や本会に関する最新情報を積極的かつタイムリーに発信。
- (2) SNS 導入の検討を視野に、東日本支部部会の X (旧・Twitter) アカウントを開設。

3) インフラメンテナンス国民会議への参加

国が支援し、自治体、企業、研究機関、NPO 等で構成されているインフラメンテナンス国民会議に会員として参加し、社会資本の維持管理に関する情報を収集。

4) 他団体との連携による広報

VE 大会及びVE セミナーの開催にあたり、次の団体から後援及びPR 支援をいただいた。

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| ① 日本インダストリアル・エンジニアリング協会 | ④ 公益社団法人大阪府工業協会 |
| ② NPO 法人日本TRIZ 協会 | ⑤ 公益社団法人京都工業会 |
| ③ 一般社団法人日本システムデザイン学会 | ⑥ 公益社団法人兵庫工業会 |

5) 国際交流

インドVE 協会 (INVEST) メンバーの来日時の交流を通じて、現地でのSCR 事業におけるVE 適用プロジェクトに日本のVE 専門家がアドバイスを提供する形で共同研究を実施。

10. 会 議

1) 定時総会の開催

開催日	6月13日
出席者	61名
議 案	① 2023年度計算書類の件 ② 理事選任の件

2) 理事会の開催

	開催日	出席者	主 な 内 容
第45回	5月14日	9名	① 代表理事（会長）・業務執行理事の業務執行状況報告 ② 2023年度の事業報告書及び計算書類について ③ 第14期定時総会の招集について、など
第46回	6月13日	11名	① 代表理事（会長）・常任理事及び業務執行理事の選任 ② 事務局長の任命 ③ 支部長の委嘱、など
第47回	9月 3日	13名	① 代表理事（会長）・業務執行理事の業務執行状況報告 ② 2024年度顕彰者の決定 ③ 重要な職員の任命について、など
第48回	3月11日	11名	① 代表理事（会長）・業務執行理事の業務執行状況報告 ② 2025年度の事業及び収支予算について ③ 2025年度の資金調達及び設備投資について、など

3) 「本部企画委員会」のオンライン開催

	開催日	出席者	主 な 内 容
第52回	2月19日	6名	① 各支部・各委員会の2024年度概況と2025年度予定について ② 本会の2024年度事業概況と2025年度事業について

11. 会員数の異動

		会員数		入 会	退 会	増 減
		2024年 4月1日	2025年 3月31日			
正 会 員	団 体	62	59	2	5	-3
	個 人	28	29	2	1	+1
賛助会員	団 体	77	78	4	3	+1
	個 人	81	77	7	11	-4
合 計		248	243	15	20	-5

12. 2024年度 事業報告 附属明細書

2024年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業活動の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書は作成していない。

以上